

令和二年度公開シンポジウム(兼) 第四十二回教研大会のお知らせ



ト会場として開催する。

「GIGAスクール構想」に、学校・教職員はどう取り組んでいけばいいのかの主題のもと、基調講演として信州大学教育学部助教・佐藤和紀様をお招きして御講演いただく。また、佐藤先生をはじめ、徳島県立総合教育センター教育情報課長・濱口和弥様、鳴門教育大学教授(地域連携センター所長)・葛上秀文様、鳴門教育大学大学院准教授・藤原伸彦様、鳴門教育大学大学院准教授・泰山裕様によるシンポジウムも開催される。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、全国の学校で「オンライン教育」が急遽実践され、ICT環境が未だ整備されていない実態や運用の難しさが明らかになってきたところである。現在、ICT環境整備は急ピッチで進んでいるが、教職員も活用方法については今なお手探りの状況である。今回、ICT教育に詳しい先生方が登壇し、今後の対応について提言される。

- 日時 令和三年一月九日(土)
 - 九時～
 - 九時二十分～九時三十分 受付
 - 九時三十分～十時三十分 開会行事
 - 十時四十五分～十一時五十分 基調講演
 - シンポジウム
- 講師 佐藤 和紀氏 (信州大学教育学部 助教)
- 演題 「一人一台一人一アカウント環境とこれからの教育」
- 場所 鳴門教育大学・香川県教育会館他

先生のための マネーフランココラム

ファイナンシャルプランナーからのお便り
「介護について③」

今回も、介護についてお伝えします。ところで、MCIってご存知でしょうか？MCI(Mild Cognitive Impairment)は軽度認知障害と訳されます。健常者と認知症の中間に位置する「認知症予備軍」といえます。認知症にいたる前に、このMCIの状態になることが最近わかってきました。厚生労働省の「第一一五回社会保障審議会介護給付費分科会資料」によりますと、六十五歳以上高齢者人口が三〇七九万人、その内認知症の方が約四六二万人、MCIの方が約四〇〇万人だそうです。六十五歳以上の方の約四人に一人がMCIもしくは認知症であると言えますね。

MCIの状態は、多少もの忘れがあるものの、日常生活にほとんど支障がないために、放置されているケースが多いようです。そして、MCIから認知症へ進んでしまう人の割合は年平均で一〇%、五年目には約四〇%の人が認知症を発生すると言われています。逆に、適切な予防対策を行うことで回復したり、認知症の発症を遅らせたりすることができるといいます。これまでの研究で、MCIと診断された後、二六%が健常者へと回復することがわかってきています。大切なことは、早めにMCIに気づき、対策を行って認知症への移行を防ぐことです。

MCIの治療・改善方法については、運動や食事、脳トレ・ニング、薬物療法など、様々な研究が進められています。私どもは、介護や年金、資産形成などの情報を、LINE公式アカウントにて発信しています。このQRコードから、ぜひ登録ください。

FPラボ代表・伊藤祐一



香川県教職員連盟
Facebook開設中!



- 八日 全日教連執行委員会 (Zoomによるリモート会議)
- 九日 全日教連第八次中央要請行動(首相官邸)

- 一八日 全日教連第九次中央要請行動(東京)

- 一二日 県教委予算交渉(香川県庁北館)
- 県人事委員会説明会(県人事委員会)

- 一三日 徳教団・香教連・鳴教大情報交換会 (Zoomによるリモート会議)

- 一六日 地震発生時避難訓練(県教育会館)

- 二一日 日本文教文研教育ウェビナー (ウェブ配信講演)

- 二四日 萩生田文部科学大臣要望(東京)
- 高松評議員会(県教育会館)

